

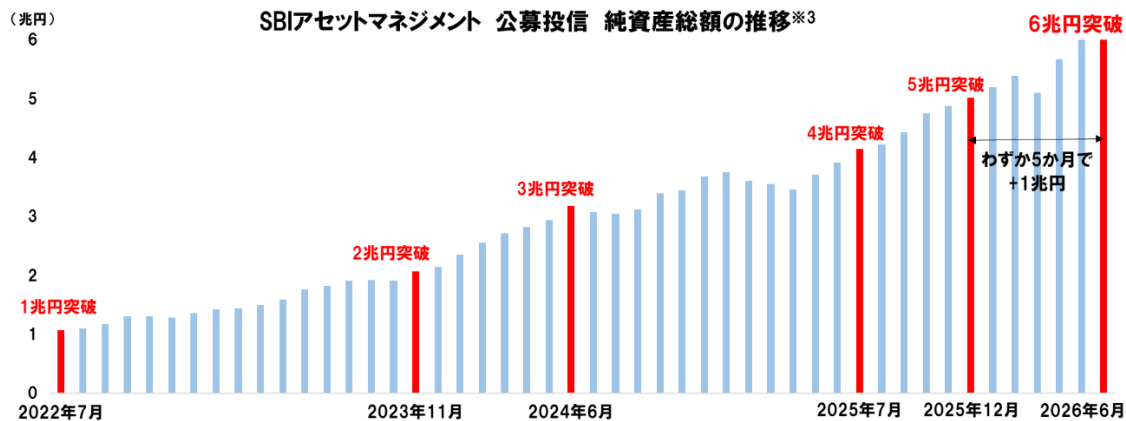
2026年6月1日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

**SBIアセットマネジメントの運用する公募投信の純資産総額が6兆円突破
 5兆円突破から約5か月で1兆円増加、SBI岡三及びレオス含むグループ3社で業界8位**

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)が設定・運用する公募投資信託の純資産残高合計が2026年6月1日に6兆円を突破しました。2025年12月に5兆円を突破して以来、約5か月で1兆円を上乗せし、2022年7月の1兆円超えから約3年10か月で6倍に拡大。成長が一段と加速しております。なお、グループ3社(SBIアセット、SBI岡三アセットマネジメント、レオス・キャピタルワークス)合計の公募投信純資産残高は約9.3兆円^{※1}となり、業界8位^{※2}となっています。



SBIアセットは、低コストのインデックスファンドを中心に商品ラインナップを拡充してまいりました。旗艦ファンドである「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド」は純資産総額3兆円を目前^{※4}とし、純資産残高はS&P500インデックスファンドの中で第2位^{※5}となりました。直近では「SBI読売333インデックス・ファンド」や「SBI NASDAQ100インデックス・ファンド」も新たに設定しました。また、業界最低水準のコストで提供する「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド」も、純資産総額4,000億円を突破^{※6}しております。

アクティブファンドでは、年4回決算型の高配当シリーズがご好評をいただいております。「SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)」は設定後2年あまりで純資産2,000億円を突破し、国内高配当株式ファンドで第3位^{※7}となっています。

また、地方創生×高配当をテーマとする『SBI地方創生・日本高配当株式ファンド』を5月に、光通信投資顧問の助言を受ける『SBI・光ハイクオリティ・バリュー株ファンド』を7月に設定するなど、独自性の高い商品の拡充も進めております。

近年はオルタナティブ分野にも注力し、「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」「SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)」など、従来、個人投資家の投資機会が限られていた分野の商品の提供にも取り組んでおります。今後は暗号資産等のデジタル資産運用分野の開発も推進してまいります。

当グループは引き続き「顧客中心主義」のもと、低コスト運用を軸とした規模の拡大に加え、運用の質の向上を進めることで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1: SBIグローバルアセットマネジメント・グループのSBIアセット以外の各社残高及びグループ残高合計は2026年4月末時点。
 ※2: 資産運用業協会公表情報(2026年4月末時点)を基にSBIアセットが調査。*公募投資信託残高は外国投信を除く金額
 ※3: SBIアセットの残高推移は、合併前のSBIグループ(SBIアセット、SBI地方創生、SBI債券・インベストメント)の残高を含む。プレスリリース公開時点もしくは月末時点の残高を基にSBIアセット作成。
 ※4: 2026年6月1日現在。 ※5: 2026年5月29日時点。S&P500に連動する国内の追加型公募投資信託(ETF除く)が対象。ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ。
 ※6: 2026年2月25日時点。為替ヘッジありおよび為替ヘッジなしの合計額。
 ※7: 国内公募追加型株式投信(ETF除く)のうち、2026年4月末時点で国内株式型に属し、ファンド名に「配当」を含むファンドが対象。残高は2026年5月29日時点。ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ。
 【本件に関するお問い合わせ先】
 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170
 (金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人資産運用業協会)